

準

決勝 八幡工業 vs 彦根東

0-10 コールド勝ち

赤鬼打線爆発



▲先制適時打を放った藤谷君

甲子園まで

あと1つ



▲4点目となる適時二塁打放った山中君



▲野球部の応援に駆け付けた吹奏楽部



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

1 回裏、本校は川端将広君(3-8)の二塁打と2つの四球による満塁のチャンスで、藤谷康平君(3-6)が適時打を放ち1点先制。その後2点目を得点した。2 回裏、平尾拓也君(3-7)が四球で出塁、その後、谷澤翼君(3-2)の適時二塁打で3点目、続く山中俊亮君(3-7)の適時二塁打で4点目を得点した。3 回裏、田中良君(3-3)と、武田圭太君(3-6)の安打と送りバントによる2、3塁のチャンスで辻天薫君(3-5)のセーフティバントで5点目、さらにその間の相手の捕手の悪送球で6点目を得点した。4 回裏、谷澤君と藤谷君が相手のエラーで出塁、その後藤谷君の盗塁中に起きた相手の送球ミスで7点目を得点した。5 回裏、武田君、平尾君の連続ヒットで1、3塁のチャンスとなり、辻君が適時二塁打を放ち、8点目を、続く2、3塁のチャンスで川端君が左中間への適時二塁打で10点目を得点し、コールド勝ちで本校は決勝へとコマを進めた。

今日、野球部の応援に駆け付けた吹奏楽部の部長則久華子さん(2-3)は「野球の応援をすることは憧れだったので夢が叶って嬉しい」と笑顔で話した。応援団長の吉松元輝君(3-6)は「スタンドからも選手を後押ししよう」と応援した。吹奏楽があると盛り上がったし、すごかった」と真剣な表情で話した。キャプテンの山中君は決勝戦にむけて「明日は周囲のみんなの期待も大きいのでより自分たちの試合ができるよう頑張っていきたい」と述べた。川端君は今日の試合について「初回にしっかり打って得点にできてよかった」と話し、「今まで彦根東は夏の甲子園に行つたことがないので、絶対に勝つて歴史を変えたい」と意気込んだ。

監督の村中隆之先生は今日の試合を「平尾を楽にしたいという思い通り、エンドランやバントで点数にすることができ、攻めの姿勢ができた」と振り返られ、明日への意気込みを「甲子園を狙っていく。絶対に負けない試合にしたい」と話された。

	一	二	三	四	五	計
八幡工	0	0	0	0	0	0
彦根東	2	2	2	1	3	10